製図法演習（プロダクト製図）①②

國府 理

選択　演習　１年次　後期　２単位　※Ｐ生限定

授業目的・方針、到達目標

プロダクトデザインを学ぶ際に必要なスキルとしての、立体感覚をともなったドローイングや、伝えることを重視した作図方法を基礎から学ぶ。

授業内容

１：授業の目的および内容の説明
２：道具の使い方・線の種類・寸法記入などの解説と実習
３：空間の表現方法の解説と実習
４：投影法の解説、アイソメトリック図から三面図を作成
５：アイソメトリック図法の解説と簡単な作図
６：三面図からアイソメトリック図を作成①
７：三面図からアイソメトリック図を作成②
８：立体と作図１：プロダクト製品の構造の理解と計測
９：立体と作図２：計測から三面図（部品図）を作成①
10：立体と作図３：計測から三面図（部品図）を作成②
11：立体と作図５：計測から三面図（組立図）を作成①
12：立体と作図６：計測から三面図（組立図）を作成②
13：立体と作図７：アイソメトリック図による組み立て指示図の作成①
14：立体と作図８：アイソメトリック図による組み立て指示図の作成②
15：立体と作図９：アイソメトリック図による組み立て指示図の作成③とまとめ

準備学習

プロダクト製品の取扱説明書に掲載されているテクニカルイラストレーションに普段から関心を持っておくことが望ましい。

評価方法

第８回以降に作成する三面図と組み立て指示図をもって作品とする。作品の提出とその評価による。小演習を含めた未提出の課題や作品がある場合、また出席が10回に満たない場合は「Ｅ評価」とする。

参考テキスト

『基礎製図』大西　清著

各自準備物

Ａ３トレーシングペーパー、製図道具一式、テンプレート、カーブ定規など。